

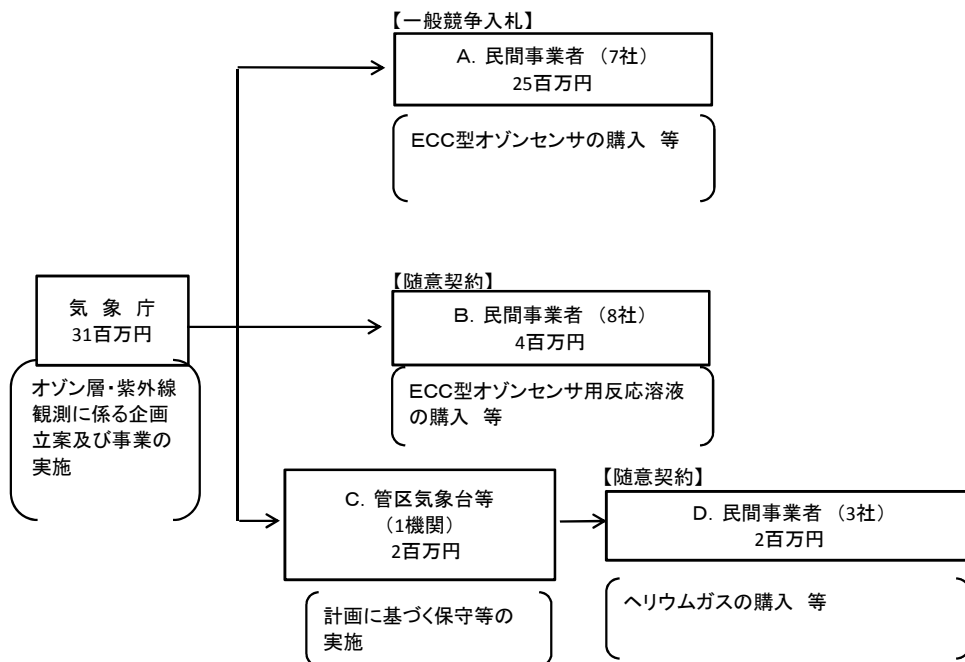
平成25年行政事業レビューシート

(国土交通省)

事業名	オゾン層・紫外線観測		担当部局庁	気象庁 地球環境・海洋部		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	昭和42年度～		担当課室	環境気象管理官		環境気象管理官 佐々木 徹		
会計区分	一般会計		政策・施策名	4 水害等災害による被害の軽減 10 自然災害等による被害を軽減するため、気象情報等の提供及び観測・通信体制を充実する				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	気象業務法(第3条、第11条 他) 特定物質の規制等によるオゾン層の保護に関する法律(第22条)		関係する計画、通知等	第4次環境基本計画(平成24年4月27日閣議決定)				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	国内4地点でオゾン分光光度計観測及びオゾンゾンデ観測を実施するとともに、オゾン層の破壊に伴い増大すると予想される有害紫外線の観測を実施することにより、オゾン層及び紫外線の状況を把握し、的確な情報を公表し、オゾン層保護対策の策定及び推進に資する。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	札幌・つくば・那覇・南鳥島の国内4か所において、地上に到達する紫外線の強さをオゾン分光光度計によって測定し上空のオゾン全量を知るオゾン全量観測、気球に吊るした測器を飛揚することによりオゾンの高度分布を知るオゾンゾンデ観測、地上に到達する有害紫外線の強さを波長ごとに観測する波長別紫外域日射観測等を実施する。							
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求	
		補正予算	-	-	-	-	-	
		繰越し等	-	-	-	-	-	
		計	33	31	31	29	29	
	執行額	33	31	31				
	執行率(%)		100.0%	98.5%	99.9%			
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	22年度	23年度	24年度	目標値(25年度)
	地球環境に関する気象情報について、平成24年度は、2件の新規の情報提供を目標とする。平成25年度は、2件の改善又は新規の情報提供を目標とする。※		成果実績	件	11(累計)	16(累計)	2	2
			達成度	%	73	107	100	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	情報の発表回数(紫外線観測・解析情報等)		活動実績(当初見込み)	回	5,122	5,136(5,136)	5,122(5,122)	—(5,122)
	刊行物発行回数(気候変動監視レポート等)		活動実績(当初見込み)	回	3	3(3)	2(2)	—(1)
	1地点あたりの観測回数(オゾン全量/オゾンゾンデ/紫外線)		活動実績(当初見込み)	回	1100/52/4500	1100/52/4500(1100/52/4500)	1100/52/4500(1100/52/4500)	—(1100/52/4500)
単位当たりコスト	6.1(千円/回)		算出根拠	24年度執行額/24年度情報の発表回数				
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由				
	観測予報庁費	29	29					
	計	29	29					

事業所管部局による点検						
		項目	評価	評価に関する説明		
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。		○	<ul style="list-style-type: none"> ・オゾン層保護の問題は国民の大きな関心事項であり、広く国民のニーズがあり、政策の優先度の高い事業である。 ・オゾン層保護の問題は、フロン等の世界的な規制に関連する。また、本事業は国際的な枠組みで行われるものである。このため、国が実施すべき事業である。 		
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○			
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。		○			
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		○	<ul style="list-style-type: none"> ・観測用の消耗品等の調達に当たっては、できる限り一般競争入札により調達するよう努めている。 ・調達内容を吟味し、コスト縮減に努め、無駄のない予算の執行に努めている。 		
	受益者との負担関係は妥当であるか。		—			
	単位当たりコストの水準は妥当か。		○			
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		—			
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○			
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		—			
事業の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		○	<ul style="list-style-type: none"> ・世界標準的な手段を用いて観測を実施しており、国際的なデータ交換に資するなど、効果的に事業を実施している。 ・観測及び解析情報の発表を着実に実施しており、活動実績は見込みに合ったものとなっている。 ・整備した観測施設を十分に活用しており、成果物はホームページで公表するとともに、世界気象機関(WMO)や環境省等で活用されている。 		
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		○			
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		○			
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		—			
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名			
点検結果	<p>オゾン層は地球規模のスケールをもって変化するものであり、オゾン層保護対策の策定及び推進に資する確かな情報を公表するためには、世界的な枠組みの中で気象庁が行っているオゾンゾンデ観測、オゾン全量観測、波長別紫外域日射観測は不可欠である。このため、本事業を継続する必要がある。また、事業の実施に当たっては、競争性の確保等による効率的な調達方法の実施に努め、消耗観測機材の調達において仕様を見直すことにより調達の競争性を向上し、コストの縮減を図っている。</p>					
外部有識者の所見						
行政事業レビュー推進チームの所見						
事業内容の改善	引き続き、調達の競争性を確保しつつ、調達方法の改善を図り、コストの縮減に努めるべき。					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
執行等改善	チームの所見を踏まえ、引き続き、調達の競争性を確保しつつ、調達方法の改善を図り、コストの縮減に努める。					
備考						
<ul style="list-style-type: none"> ・オゾン層問題をはじめとする地球環境問題の解説及び観測成果等については、以下の気象庁ホームページにおいて公開している。 気象等の知識「地球環境・気候」：http://www.jma.go.jp/jma/kishou/knownow/kikou.html 気象統計情報「地球環境・気候」：http://www.data.kishou.go.jp/climate/index.html <p>※平成19年度から平成23年度までの成果目標は、各年度に3件(5年間で計15件)の地球環境に関する気象情報の改善又は新規の情報提供を行うものであり、100%達成した。</p>						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
	平成22年	501	平成23年	478	平成24年	509

※平成24年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。



資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位: 百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」に
 おいてブロックご
 とに最大の金額
 が支出されている
 者について記載
 する。費目と使途
 の双方で実情が
 分かるように記
 載)

A.ダイレック(株)			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
消耗品費	ECC型オゾンセンサの購入	8			
計		8	計		0
B.(株)離合社			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
消耗品費	ECC型オゾンセンサ用反応溶液の購入	1			
計		1	計		0
C.沖縄気象台			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
雑役務費	GPSオゾンゾンデ観測装置の点検調整 等	1.4			
消耗品費	ヘリウムガスの購入(沖縄気象台)	0.4			
計		1.8	計		0
D.明星電気(株)			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
雑役務費	GPSオゾンゾンデ観測装置の点検調整	0.7			
計		0.7	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	ダイレック(株)	ECC型オゾンセンサ購入(単価契約)	8	1	99.45
2	(株)ブリード	ブリューワー分光光度計用修理部品等の購入	7	1	100
3	三興通商(株)	GPSゾンデ(RS92-SGP型)の購入(単価契約)等	4	1	-
4	(株)気球製作所	600gゴム気球他の製作(単価契約)	3	2	99.72
5	明星電気(株)	GPSゾンデ(RS-06G型)他の購入(単価契約)	0.8	1	99.91
6	(株)ダブリュファイブ	オゾン全量観測データ入力の作業補助(単価契約)	0.8	6	非公表
7	(株)マルミヤ	ネットワーク接続型ストレージほかの購入	0.3	3	93.68
8	-	-	-	-	-
9	-	-	-	-	-
10	-	-	-	-	-

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)離合社	ECC型オゾンセンサ用反応溶液の購入	1	随意契約	-
2	三興通商(株)	GPSゾンデ(RS92-SGP型)の購入	0.8	随意契約	-
3	明星電気(株)	GPSゾンデ(RS-06G(E)型)購入	0.7	随意契約	-
4	(株)気球製作所	2000gゴム気球の製作	0.6	随意契約	-
5	(株)ブリード	ブリューワー分光光度計(那覇)の点検調整	0.5	随意契約	-
6	トーテックス(株)	パイプセパレータ付パラシュート製作(単価契約)	0.3	随意契約	-
7	(有)山内ボデー	車輛修理代	0.08	随意契約	-
8	昭和化工(株)	気象観測用パラシュート他の製作(単価契約)	0.07	随意契約	-
9	-	-	-	-	-
10	-	-	-	-	-

C.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	沖縄気象台	GPSオゾンゾンデ観測装置の点検調整等	1.8	随意契約	-
2	-	-	-	-	-
3	-	-	-	-	-
4	-	-	-	-	-
5	-	-	-	-	-
6	-	-	-	-	-
7	-	-	-	-	-
8	-	-	-	-	-
9	-	-	-	-	-
10	-	-	-	-	-

D.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	明星電気(株)	GPSオゾンゾンデ観測装置の点検調整	0.7	随意契約	-
2	(株)琉電コントロール	紫外域日射観測装置の設置床面整備工事	0.7	随意契約	-
3	(株)オカノ	ヘリウムガスの購入(沖縄気象台)	0.4	随意契約	-
4	-	-	-	-	-
5	-	-	-	-	-
6	-	-	-	-	-
7	-	-	-	-	-
8	-	-	-	-	-
9	-	-	-	-	-
10	-	-	-	-	-